

発掘！発見！土の中にはロマンがいっぱい

もぐら の はなし



富士宮市 埋蔵文化財センターだより

冬号

2023
Winter





埋

まいぶん

文の仕事について知ろう！



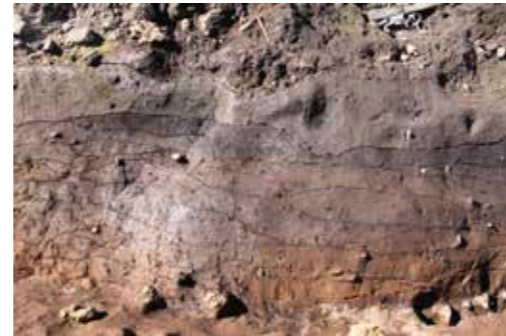
多くの土器や石器が展示されている埋蔵文化財センター。そこでは、どんなお仕事が行なわれているのでしょうか。“見学者立ち入り禁止”の柵の奥では、職員が遺跡にまつわるいろいろな仕事を進めています。そのうちのいくつかを紹介します。

1 市内の遺跡の発掘調査をします

富士宮市には 248 カ所の遺跡が分布しています。その遺跡の範囲内で新しく開発を行なうには、事前に確認調査（土地の一部を試掘する）を行ない、埋蔵文化財の有無を確認します。その結果、遺物（石器や土器など）や遺構（住居址など）が見つかった場合は、本調査（開発を行う土地全体の調査）を行ない、遺跡についてより詳しく調べます。



甕が数点出土した



滝戸遺跡の土層断面



滝戸遺跡の発掘調査風景（R3年度）

3 遺跡について本にまとめます

発掘調査を終えた遺跡についての事実記載等の原稿や、遺物の実測図、遺構の図面をレイアウトし、書籍として印刷できる状態にするための編集作業を行ないます。遺構や遺物のデータおよび、遺跡の性格評価などをまとめた『発掘調査報告書』を富士宮市教育委員会から刊行。これらは全国の自治体や大学、図書館に送付されます。ほかにも、遺跡によってはパンフレットを作成したり、市内の遺跡の図録も刊行しています。



これまでに 50 集以上を発行



図録やパンフレットも

2 出てきた遺物を整理します

遺跡から出土した遺物（土器や石器など）は、整理作業員が洗浄、乾燥させます。その後、遺物 1 点ずつに遺跡名や出土地点、番号などの情報を細筆で正確に注記します。割れたり欠けたりしたものは、接着剤で接合し、石膏などで補強し、元の形に復元。遺物を計測し、図化する「実測」では、形だけでなく、文様の位置も正確に測って方眼紙に記録します。



接合し、隙間は石膏で埋める

注記には細筆を使用



正確さと根気を要する実測図作成

誰かに話したくなる！

考古学トリビアの壺

～ネーミングの妙！？～

縄文土器の中にはなんと、実測道具から名づけられたものがあるんです。その名も『^{がた}キャリパー形土器』。両者、ほんのり似ていますよね。縄文中期（約 5 千年前）のもので、関東地方から多く出土しています。



he~ he~
Bikkuri!
Shiranakatta!!

実測に使う
キャリパー



2023 冬号のプレゼントクイズ！ どの遺跡から出土？

埋文センターに来て、この土偶を展示物の中から見つけてください。スタッフに展示場所と出土した遺跡の名前を伝えたら、埋文グッズをゲット！



バックナンバーのご案内

リニューアル前の『埋文ふじのみや』Vol.1～Vol.18は、富士宮市のホームページでご覧になれます。
合わせて、最新号も公開しています。



創刊号



Vol.2



Vol.3



Vol.4



Vol.5



Vol.6



Vol.7



Vol.8



Vol.9



Vol.10



Vol.11



Vol.12



Vol.13



Vol.14



Vol.15



Vol.16



Vol.17



Vol.18

富士宮市埋蔵文化財センター

所在地 〒419-0315

静岡県富士宮市長貫 747-1

電話 0544-65-5151

FAX 0544-65-2933

E-mail maibun_center@city.fujinomiya.lg.jp

展示室 平日

開館日 * 祝日及び年末年始(12月28日～1月3日)は休館

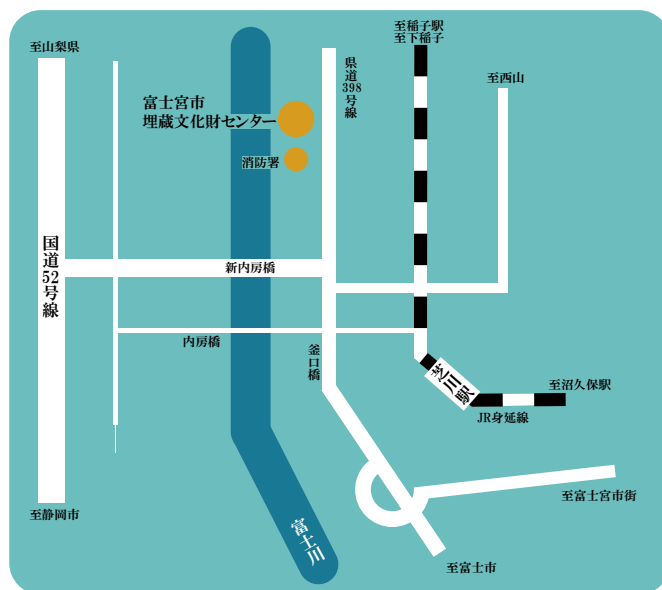
開館時間 9:00～17:00(入館は16:30まで)

* 埋蔵文化財センターの業務時間は8:30～17:15

見学料 無料

駐車場 あり(無料)

※詳細はHPでご確認ください



富士宮市埋蔵文化財センターだより

もぐらのはなし 冬号 (通算 vol.19)

令和5年1月

編集/発行 富士宮市埋蔵文化財センター